

稜線山岳会（神戸商科大 学山岳部OB会）近況

山岳部は創立81周年目になり、会員は約100名です。若いときは先鋭的な岩登りや積雪期の登山をした会員も、今では各自がライフスタイルにあつた山行を行つております。

日本百名山、二百名山を達成し、現在、三百名山に挑戦中の会員がいます。日本百高山（富士山を筆頭に標高の高い順に100の山）に挑戦中で、残り7座になつている会員もあります。金剛山に年間200回以上

登山をしている会員もいます。さらに毎年登山これは新年の暦年に合わせた標高の山頂に到達し、年賀状の写真とする登山ですが、2011年に該当する標高の山はなかつたので、霞沢岳スタジオ・ジャンクション付近2300m地点で平成23年の新年用記念写真を撮影した会員もあります。また、山岳関係の書籍収集を趣味として、6、500冊以上(うち500冊以上は限定本、著者署名入りの本)のコレクションをしている会員もいるなど、バリエーションに富んだ山の楽しみ方をしています。

山岳部にはシーズンオフがないため、学生時代には、北アルプスを中心とした活動を行つてしまします。このため、関西近郊の山は六甲山での岩登り練習を除くと意外にいつておりません。3ヶ月に1回は関西近郊の山行をしようということで、平成22年の秋には岡山県泉山（いづみ

がせん）に登り、夜は地元民宿でぽたん鍋に舌鼓を打ち、翌朝はしんどい体で鎖を伝い、垂直に切り立った絶壁の中に建てられた国宝の三徳山三仏寺投入堂に行つてきました。新春には六甲山の中でも人の少ない裏六甲を歩き、その後はお決まりの新年会を行つています。平成23年の春には大峰山を登り、帰りに吉野の桜を愛でる予定にあります。

毎年、9月のシルバーウィークには、アニュアルキャンプを新穂高（岐阜県高山市奥飛騨温泉郷新穂高）にある山岳部所有の奥飛騨ヒュッテに全国からOBが家族連れで集まり、懇親を深めています。アニュアルキャンプの前後にはヒュッテを起終点にした登山を楽しむことにしており、ヒュッテの周りにある乗鞍岳、笠ヶ岳、西穂高岳、奥穂高岳、槍ヶ岳等への山行を行つています。

淡水会員の方でも中高年になり、

登山を趣味にしている方も多くおられますと存じます。奥飛騨ヒュッテには車で行け、電気・水道・ガス、水洗トイレ、その他生活器具（冷凍冷蔵庫、電子レンジ、IH器具）等も完備し、近所には肌がすべすべになる天然温泉もあります。北アルプス登山の基地としてのご利用や避暑・保養にご利用ください。

稜線山岳会ではHPを設け、情報交流を行つております。奥飛騨ヒュッテの概要や奥飛騨ヒュッテを基点とする山行の情報は下記のURLをご覧ください。会員の活動が分かるように情報を掲載しております。

http://www.irsp.co.jp/Ryosen_HP/index.html

GoogleやYahooで「稜線山岳会」と検索してください。

（稜線山岳会 会長

学部29回 中平 和伸 記）

稜線山岳会奥飛騨ヒュッテのご案内

奥飛騨ヒュッテは中部山岳国立公園内の岐阜県高山市奥飛騨温泉郷に立地しています。ヒュッテといつても山登りをする必要はなく、林道の終点ゲートに車をおいて、50mぐらいい平坦な道を行けばヒュッテに到着します。

奥飛騨ヒュッテは上高地と背中合わせの位置にあり、笠ヶ岳の麓に位置しているため、ヒュッテをベースに、笠ヶ岳はもちろんのこと奥穂高岳、槍ヶ岳といった名峰にも行けます。新穂高ロープウェイを使えば、西穂高岳や上高地にも行けるなど、さまざまなルートを辿ることができます。さらに、名湯新穂高温泉があり、硫黄系のお湯が山の疲れを癒してくれます。

奥飛騨ヒュッテは昭和37年に山岳部OB会である稜線山岳会が整備し、神戸商科大学自然公園研究所として



平成22年度アニュアルキャンプ(於：神戸商科大学奥飛騨ヒュッテ)

定員は数えたことはありませんが、40人ぐらいは快適に泊まることができます。ヒュッテの敷地や堰堤の周辺でテントを設営することも可能です。

奥飛騨ヒュッテをご利用希望の方は稜線山岳会HPに記載しているメールにしてご連絡ください。山登りの活動拠点、温泉療養、避暑旅行、ゼミ旅行、講習会（自然教室、料理教室等）にご利用ください。山岳部関係者だけでなく、外部にも開放しております。

奥飛騨ヒュッテのご利用をお待ち申しあげております。

運営を行つております。これまでに2度に渡る改修工事を行つております。電気・ガス水道の開通、水洗化、囲炉裏の設置、大型冷蔵庫・電子レンジ・IH炊飯器・洗濯機・圧力鍋、バーベキュー等のパーティ道具設置等設備の充実を行い、現在では快適なヒュッテとなつております。